

東亜グループCSR活動の基本的な考え方

経営理念に掲げる

「高い技術をもって、社業の発展を図り

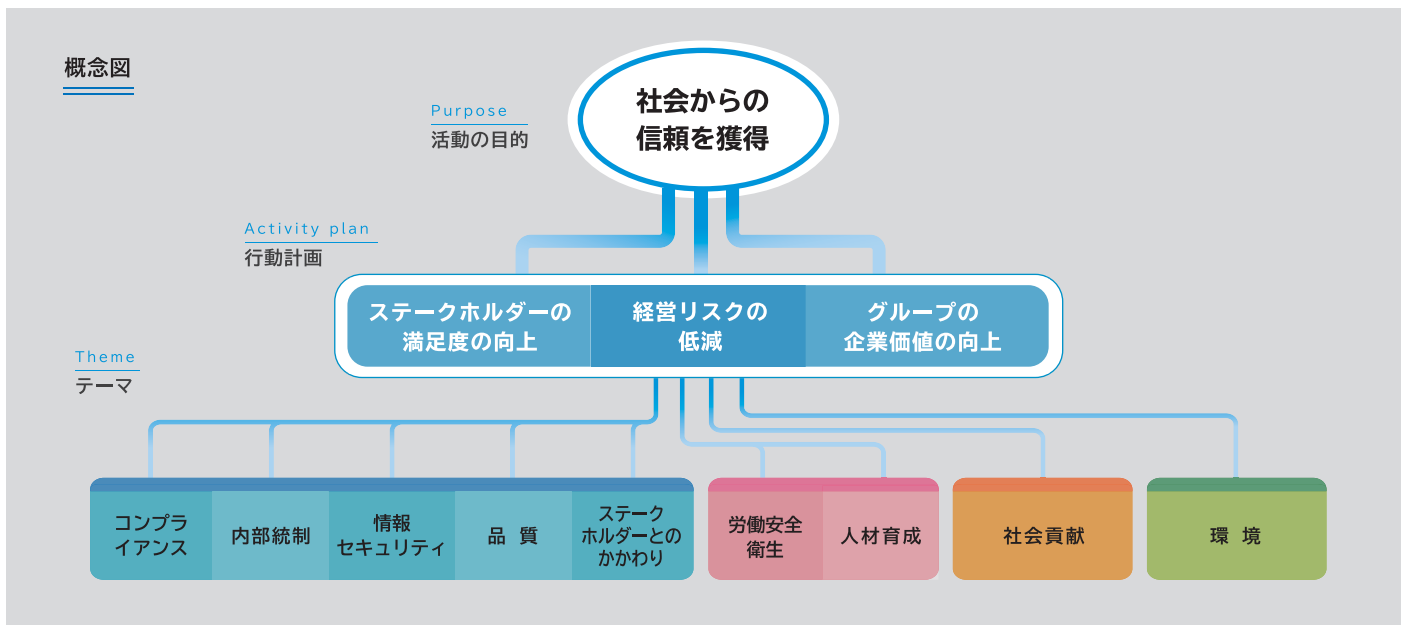
健全な経営により社会的責任を果たす」ことが

社会における当社の存在意義であるとの認識のもと

健全で継続的な社業の発展をめざして

CSR活動を推進します

東亜グループは、海上土木、陸上土木、建築の分野で、日本はもとより広く海外のニーズに応えています。そのめざすところは、CSR活動の目的としている「社会からの信頼を獲得」することです。この目的を達成するために、公正な企業活動による健全経営を追求し、高い技術により建設業者としての品質の高いサービスを提供してまいります。当社では、CSR活動を9つのテーマに分け、テーマごとに、期首に行動計画を策定し、期末に評価し、次年度の行動計画に活かしています。



企業行動規範

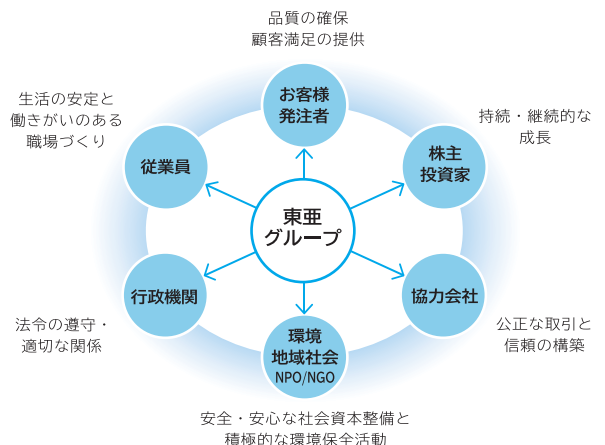
■ 東亜建設工業グループ企業行動規範

当社は、経営理念に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」ことが、社会における当社の存在意義であるとの認識のもとにCSR活動を推進し、健全で継続的な社業の発展をめざすべく、ここに「東亜建設工業グループ企業行動規範」を定め、グループ全体に周知・徹底します。(2006年6月制定)

| | |
|----|------------------|
| 1 | 優良な建設物とサービスの提供 |
| 2 | 法令等の遵守の徹底 |
| 3 | 公正な競争の推進 |
| 4 | 反社会的勢力との関係の遮断 |
| 5 | 企業情報の適正な開示と信頼の確保 |
| 6 | 地域社会との調和と貢献 |
| 7 | 環境への取り組み |
| 8 | 働きやすい職場環境と豊かさの実現 |
| 9 | 国際社会との調和と貢献 |
| 10 | 率先垂範と体制整備 |

東亜グループのステークホルダー

東亜グループは、株主、お客様、従業員、協力会社、関係機関、工事現場や事業所の近隣住民、できあがった構造物を利用する人々など、さまざまな人々、法人、機関と関わりをもち、支えられています。これらステークホルダーの満足度向上を図るため、グループをあげて取り組んでいます。



2014年度の主な活動実績と2015年度の主な活動目標

| CSR活動のテーマ | 2014年度 | | | 2015年度 |
|----------------|---|---|----|---|
| | 主な活動目標 | 主な活動実績 | 評価 | 主な活動目標 |
| コンプライアンス | <ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪および重大事件“ゼロ” | <ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪および重大事件：労災の報告義務違反1件発生 「独占禁止法の遵守」：TV会議システムおよびe-learningによる研修を実施 「コンプライアンス」：e-learningによる研修を実施 | △ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪および重大事件“ゼロ” |
| 内部統制 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備“ゼロ” ■ 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 左記、重要な不備：0件 東亜グループ全事業所の内部監査実施 ■ 内部統制の強化および業務改善を指導 | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備“ゼロ” ■ 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上 |
| 情報セキュリティ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい“ゼロ” ■ PCの盗難・紛失の台数“ゼロ” ■ 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間各々30分以内 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい：0件 利用環境のセキュリティ強化（導入ツールの利用拡大、PC管理システムの導入） 情報セキュリティに関するe-learning研修を実施 情報セキュリティの実施状況の確認と指導 ■ PCの盗難：0件 ■ 停止時間：メール15分、本支店ファイルサーバ30分停止 | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 重大情報漏えい“ゼロ” ■ PCの盗難・紛失の台数“ゼロ” ■ 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内 |
| 品質 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均） 国土交通省各地方整備局で表彰：1件以上 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 工事成績評定（官庁土木）：79.4点（平均） 表彰：0件 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）のC評価3件 | △ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均） ■ 国土交通省各地方整備局で表彰：1件以上 ■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上 |
| ステークホルダーとのかかわり | <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業情報の開示に努める ■ 会社のPRに努める | <ul style="list-style-type: none"> ■ IR決算説明会（本決算・第2四半期）および現場見学会を開催 説明会資料をホームページ上で即時開示 ■ CSR報告書2014の発行 ニュースリリース 技術開発：8件、海外工事受注：2件 | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業情報の開示に努める ■ 会社のPRに努める |
| 労働安全衛生 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害“ゼロ” ■ 重大災害“ゼロ” ■ 業務上疾病“ゼロ” ■ 全社災害度数率 0.50以下 ■ 非正常作業等での災害発生件数 対前年度比半減 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害：7件 ■ 重大災害：0件 ■ 業務上疾病：0件 ■ 災害度数率：0.91 ■ 非正常作業等での災害発生件数 13件（未達） | × | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公衆災害“ゼロ” ■ 重大災害“ゼロ” ■ 業務上疾病“ゼロ” ■ 全社災害度数率 0.70以下 |
| 人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者を50名程度採用 ■ 研修の充実 ■ 産学連携による人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者採用：41名 ■ 新教育方針に基づく各種研修の実施 職種別研修の拡充 ■ インターンシップ13名受入 | △ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 新卒者を55名程度採用 ■ 研修の充実 ■ 産学連携による人材育成 |
| 社会貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ■ BCMシステムの有効性確認 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 寮・社宅の通信訓練を実施 安否確認システム訓練を実施 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集結果50.1万個 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ■ BCMシステムの有効性確認 ■ 共生社会活動の推進 エコキャップ活動：収集目標50万個 |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ（P.35）参照 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ（P.35）参照 | | <ul style="list-style-type: none"> ■ 後述ページ（P.35）参照 |

凡例 ◎……達成 ○……概ね達成 △……一部未達 ×……未達